

## インターネットでの社会実証(第一期)の結果について

### <社会実証の目的>

NHKは、テレビを全く、あるいはほとんど見ない方々を中心に社会実証(第一期)を実施しました。社会実証では、インターネット上の様々な課題に向き合い、正確、公平公正で、豊かで信頼できる情報をお届けし、生活の安全や豊かさ、地域社会の発展などに貢献するという、これまで主に放送で果たしてきた役割について、インターネットを通じてどのように果たせるのかを検証しました。

### <実施概要>

- ・実施日程:2022年4月22日~5月6日
- ・実証対象:テレビを持っていない方々や日常的に利用されていない方々、あわせて約3,000人
- ・実証方法:各サービスを体験・視聴いただいた後にアンケート調査を実施

これまでNHKが、NHK NEWS WEB や NHK プラスなどでお伝えしてきたコンテンツを組み合わせるとともに、放送と通信融合時代にNHKに期待される「正しく理解が深まり、気付く」・「知識が広がり、つながる」・「簡単に、必要な情報が見つかる」の3つの機能を、以下の7つのサービスを通じて実証しました。

①	● 主要ニュースについて、NHKの豊富なアーカイブを活用し類似ニュースの“まとめ”とは違う多角的視点を提示	NEWS WEB ・NHK+	
②	● 話題となっているコンテンツについて、通常のレコメンドの範囲とは違う幅やジャンルの多角的視点を提示		
③	● 最新ニュースについて、SNSでの盛り上がり进行分析し、分断やスパムを検知し、信頼性の課題等をアラート	フェイクアラート	
④	● 災害報道の情報を蓄積して、地図上に可視化し、危険予測・判断材料を提供	災害マップ	
⑤	● あるニュースのテーマについて、各都道府県での差異を地図などで同時に提示し、日本の多様性を提示	地域ニュース	
⑥	● 多くの動画ニュースが一目でわかると共に、重要度や新着順などに応じて適切に自動編集、連続再生する機能	一望・連続再生	
⑦	● 動画や画像アーカイブを位置情報と連携させて活用することで、日本各地の風土や多様性を提示する機能	地域文化	

## <社会実証(第一期)結果概要> ※詳細は別紙参照

### 機能①正しく理解が深まり、気付く:

各サービスにおいて一定の評価を得ました。「情報を正しく・偏りなく理解することを支援する機能」や「多様性が共有され、分断の改善に役立つ機能」は、社会にとって必要であり、NHKに期待が寄せられていることが確認されました。

#### 【留意が必要なニュースに対しアラートマークを出す】

フェイク  
アラート

- フェイクニュースを解決するうえで社会にとって有用と回答した人が **71.3%**であった。
  - 特に、30代以下の方(75.4%)や女性(73.3%)が社会にとって有用と回答した。
  - 問題意識もネット活用度も低い層で、有用と回答した人の割合は **80.3%**にのぼった。

#### 【意見の分断等を視覚的に示す】

フェイク  
アラート

- 自身にとって有用と回答した人は **74.9%**であった。

- ◆ NHKがその役割を担うことに関して、特に留意が必要なニュースに対してアラートマークを出すこと等について、**約6割**の方からNHKへの期待が寄せられた。

### 機能②知識が広がり、つながる:

各サービスにおいて一定の評価を得ました。「多角的視点での提供機能」や「偏ったレコメンドを避けるなどの機能」は、社会にとって必要であり、NHKに期待が寄せられていることが確認されました。

#### 【主要なニュースに関連したニュースや番組を多角的な視点でまとめて示す】

NEWS  
WEB

- 信頼できる情報・幅広い情報を見つけるのが難しい等の問題を解決するうえで、社会にとって有用と回答した人が **77.3%**。
  - 特に、30代以下の女性の **82.8%**が、社会にとって有用と回答した。

#### 【クリックに関連して連続再生で他のニュースも紹介する】

一望・  
連続再生

- **66.1%**の人が、偏ることなく知識をつなげたり、社会の全体像を掴んだりするうえで社会にとって有用と回答した。
  - 特に、問題意識もネット活用度も低い層の **78.6%**が社会にとって有用と回答した。

- ◆ NHKがその役割を担うことに関して、特に主要なニュースに関連したニュースや番組を多角的な視点でまとめて示すこと等について、**約8割**の方からNHKへの期待が寄せられた。

### 機能③簡単に、必要な情報が見つかる：

「簡単に、必要な情報を見つけられる機能」や「知識や視野を広げ、社会の全体像を掴むのに役立つ機能」は、社会にとって必要であり、NHKに期待が寄せられていることが確認されました。

#### 【災害関連のニュースを、地図上でプロットする】

災害  
マップ

- 81.2%が防災・減災のために今後の対策を立てるのに社会にとって有用と回答した。
  - 30代以下の方(85.1%)や女性(83.6%)で「役に立つ」と回答した人の割合が高かった。
  - 問題意識が高く、ネット活用度は低い層では、91.1%の人が有用と回答した。

#### 【適切な編集方針で主要ニュースを並べ、一望できるようにする】

一望・  
連続再生

- 64.1%が、簡単に、必要な情報を見つけたり、社会の全体像を掴んだりするためには、社会にとって有用と回答した。

#### 【災害関連の警報等の情報を、時間の経過と共に見られる】

災害  
マップ

- 82.4%が自身にとって有用と回答した。

- ◆ NHKがその役割を担うことに関して、ニュースを一望できたり、クリックに関連したニュースが連続で再生されたりすること等について、約6割の方からNHKへの期待が寄せられた。

### <NHKとしての受け止め・評価>

社会実証において、3つの機能や、それを体現したサービスに対して高い評価が得られました。テレビを全く、あるいはほとんど見ない方々からも、上記の機能をNHKが提供することの必要性について、情報空間の課題解決や、望ましい情報空間の実現につながるものとして、理解と支持が確認されました。

こうしたことから、NHKがこれまで主に放送で果たしてきた役割について、インターネットを通じて果たすことの妥当性が一定程度示されたと言えるのではないかと受け止めています。

今回の社会実証の結果も踏まえながら、いつでもどこでも、命と暮らしを守り、正確、公平公正で信頼できる情報や、多角的な視点からの深みのあるコンテンツをお届けし、情報の社会的基盤としての役割をこれまで以上に果たす、「新しいNHK」につなげていくことを目指してまいります。

### <今後(第二期以降)について>

第一期では、期待される役割(機能)を検証することを主な目的としました。UIやUXなど、使い勝手の面については、第二期以降に検証していく予定です。第二期以降については、実証の項目などを検討したうえで、実施時期や内容が決まり次第、ホームページなどで公表します。